

# 循環器内科



部長  
診療科長  
赤尾 昌治

専門医資格等 日本循環器学会認定循環器専門医、代議員(社員)、  
近畿支部評議員  
日本内科学会認定内科医、指導医、近畿支部評議員  
日本不整脈心電学会評議員  
日本心血管脳卒中学会評議員  
京都大学臨床教授、非常勤講師

専門分野 心房細動、不整脈、臨床疫学、医学教育

## □ スタッフ

平成27年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医長 カテ室チーフ 医療安全管理副部長	阿部 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本心血管インターベンション治療学会専門医、 指導医、代議員	心臓カテーテル検査・ 治療、造影剤腎症、医学統計	
医 長 CCUチーフ	益永 信豊	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会認定医	冠動脈カテーテル治療、 末梢動脈カテーテル治療、 大動脈ステントグラフト治療	
医 師 不整脈チーフ	小川 尚	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	不整脈、電気生理、カテーテルアブレーション治療、 デバイス治療	
医 師	井口 守丈	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	心不全、循環器領域の画像診断	
医 師	石井 充	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベンション治療学会認定医	狭心症・心筋梗塞・閉塞性動脈硬化症などのインターベンション、 循環器全般	
医 師	安 珍 守	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 日本不整脈心電学会 認定不整脈専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医	不整脈、カテーテルアブレーション治療、 デバイス治療	
医 師	鷗木 崇	日本内科学会認定内科医 日本救急医学会専門医	心臓救急、心肺停止蘇生、 低体温療法、虚血性心疾患	
医 師	高木 大輔		循環器一般	
医 師	手塚 祐司	日本内科学会認定内科医	循環器一般	
展開医療研究部部長	長谷川浩二	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医専門医 アメリカ心臓協会専門医 (FAHA) アメリカ心臓病学会専門医 (FACC) 日本禁煙科学会認定 禁煙支援医	心不全、虚血性心疾患、 心血管危険因子管理・特に禁煙指導、 心血管展開医療研究	
展開医療研究部室長	和田 啓道	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医	循環器学、リスクファクター管理、 予防医学	
医 長	中島 康代	日本循環器学会認定循環器専門医 日本内科学会認定内科医 総合内科専門医・指導医	循環器一般、心臓リハビリテーション	

## □ 診療科の特徴

施設認定等	日本循環器学会認定循環器研修施設 日本心血管インターベンション治療学会認定教育施設 日本不整脈学会認定不整脈専門医研修施設
-------	---

診療科モットー:「地域、世界、そして将来に貢献する循環器内科」

1. 「地域」: 命を守る責任感をもって、信頼される地域医療を提供すること
2. 「世界」: より良い医療を探求する情熱を持ち、世界に向けて情報発信すること
3. 「将来」: 指導者として人を教え育て、学習者として人から学び成長すること

「地域」は診療、「世界」は研究、「将来」は教育をあらわしています。診療・研究・教育の3本柱は、それぞれが互いを刺激して高めあう関係にあります。この3本柱がバランス良くしかも高いレベルで達成されていること、これが我々の診療科の目指す姿であり、また課せられた使命であると考えています。

## □ 主な対象疾患

虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞)	心膜疾患、心タンポナーデ
不整脈	高血圧
心不全、心原性ショック	大動脈瘤、大動脈解離
心筋症、心筋炎	閉塞性動脈硬化症
心臓弁膜症	静脈血栓症
感染性心内膜炎	肺塞栓症

## □ 診療(業務)内容

心臓、血管系の疾病全般を扱っています。専門性に偏ることなく、バランスの取れた診療を行っていくよう、常に心がけています。

2014年9月8日に、心臓カテーテル検査室が移転、新装オープンし、「心血管治療センター」として稼働を開始しました。「心血管治療センター」では、冠動脈疾患や末梢動脈疾患に対するカテーテル検査・治療、不整脈疾患に対する電気生理検査・アブレーション治療を行っています。最新鋭のレントゲン透視装置で鮮明な画像が得られるため、より正確な診断と、より確実な治療が行えます。放射線の被ばく量も減少させることができます。より安全で確実に、清潔で快適な環境で、患者さんに検査や治療を受けて頂けるよう、そしてさらにレベルの高い医療を提供して地域に貢献してまいりたい所存です。

当院は、三次救急病院として地域医療の最後の砦であるという自覚と責任感を持って、絶対に断らない医療を目標としています。医療関係者専用の当科医師への直通電話(循環器ホットライン:070-6506-7304)を設けています。24時間365日、緊急症例、診療のご相談、なんでも気軽にお電話下さい。重症度や緊急度によりましては、当科ドクターカーを派遣することも可能です。

高齢化の進むわが国において、心疾患の終末像ともいえる心不全患者が増加の一途を辿っています。心不全の治療には、薬物療法だけでなく、食事療法、心臓リハビリなどの運動療法、訪問介護・看護などを含めた生活の支援も重要になります。当科では、心臓リハビリスタッフ、看護師、栄養士、薬剤師、ソーシャルワーカー、医師を中心に、心不全チーム医療を充実させ、多職種介入による包括的管理に力を入れています。

また、当科ではつねに多くの臨床研究や、新しい薬剤や医療機器の治験をおこなっており、より有効性・安全性の高い医療を求めて積極的に研究活動を行っています。とくに、当科が中心となって2011年より開始した「伏見心房細動患者登録研究(伏見AFレジストリ)」は、日本の実臨床の現場における心房細動患者の実態を反映するデータとして全国の注目を集めており、その成果を国内や国外の一流学会や論文に発表しております。

## □ 診療実績(平成27年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数	1日平均患者数
26名	1,120名	9日	70名

主な手術・検査の件数など

冠動脈カテーテル治療	冠動脈カテーテル検査	下肢動脈カテーテル治療	カテーテルアブレーション
295件	656件	43件	51件

ペースメーカー植込
38件

□ 地域医療連携・広報活動

第8回伏見心血管病勉強会「ポリファーマシー」平成27年10月1日

第2回伏見AFネットワークミーティング 平成27年3月21日

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

学 会 名	演 題	演 者
THE 24th ANNUAL SCIENTIFIC MEETING of THE INDONESIAN HEART ASSOCIATION Jakarta, Indonesia 2015.4.10	State of The Art:The Rule of Molecular Biology in Cardiology	Tatsuya Morimoto
THE 24th ANNUAL SCIENTIFIC MEETING of THE INDONESIAN HEART ASSOCIATION Jakarta, Indonesia 2015.4.10	Updates in management of diastolic left ventricular failure:Recent Complimentary Evidence	Tatsuya Morimoto
20th Asian Pacific Society of Cardiology Congress Abu Dhabi, UAE 2015.04.29 他6件	The Effects of Weight Gain after Smoking Cessation on an Atherogenic Low-Density Lipoprotein	Maki Komiyama, Hiromichi Wada, Shuichi Ura, Hajime Yamakage, Noriko Satoh-Asahara, Sayaka Shimada, Akira Shimatsu, Yuko Takahashi, Koji Hasegawa
12th Asian Congress of Nutrition 神奈川 2015.5.14	Amorphous Curcumin Dispersions Has a High Absorption Potency in Human -A Double Blind, Randomized, 4-Way Crossover Study-	Nobuko Okamura, Yoichi Sunagawa, Yasufumi Katanasaka, Hiromichi Wada, Atsushi Imaizumi, Tadashi Hashimoto, Akira Shimatsu, Hideaki Kakeya, Koji Hasegawa, Tatsuya Morimoto
19th Annual Scientific Meeting of the ISCP Buenos Aires, Argentina 2015.06.25 他4件	Are Endothelial Markers useful for Drug Selection in ACS?	Koji Hasegawa
European Society of Cardiology Congress 2015 London, UK. 2015.08.29 他10件	Association of hypertension with the incidence of adverse events in patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry.	Mitsuru Ishii, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Moritake Iguchi, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
AHA Scientific Sessions 2015 Orlando, USA 2015.11.07 他7件	Left atrial enlargement is an independent risk factor of stroke or systemic embolism in atrial fibrillation patients: The Fushimi AF registry.	Yasuhiro Hamatani, Daisuke Takagi, Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
ブラザキサ全国学術講演会 東京 2015.04.04	日本の抗凝固療法の実態はなにを伝えているか〜Fushimi AF Registryから見えてくる課題	赤尾 昌治
第3回 Stroke Expert Meeting in 千葉 幕張 2015.4.8	循環器専門医から見た伏見AFレジストリ	阿部 充
ブラザキサWeb講演会 京都 2015.04.07	クリアチンクリアランスからNOAC適正使用を考える	赤尾 昌治
第29回日本医学会総会2015関西 京都 2015.04.11 他1件	職場における禁煙推進—産業医としての務め	長谷川浩二、高橋裕子
エリキユースinternet講演会 京都 2015.04.16	ニッポンにおける抗凝固療法の実態と課題〜Fushimi AF レジストリから考える	赤尾 昌治
第27回三重不整脈研究会 津市 2015.04.17	伏見AFレジストリから見た、日本の実臨床の現場における心房細動の疫学	赤尾 昌治
第79回日本循環器病学会学術集会総会 大阪 2015.04.24 他41件	Antithrombotic Therapies and Clinical Outcomes of Patients with Atrial Fibrillation and History of Coronary Intervention: From the Fushimi AF Registry	Mitsuru Abe, Takashi Unoki, Mitsuru Ishii, Nobutoyo Masunaga, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Masaharu Akao.
第79回日本循環器病学会学術集会ランチョンセミナー16 大阪 2015.04.24	クリアチンクリアランスからNOAC適正使用を考える	赤尾 昌治
第79回日本循環器病学会学術集会ランチョンセミナー54 大阪 2015.04.24	NOAC前後、そして登場後の抗凝固療法〜伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
エリキユース座談会 大阪 2015.04.24	日本における高齢心房細動患者の合併症を踏まえた抗凝固療法を考える	赤尾 昌治
Meet The Specialist 川崎 2015.5.8	脳梗塞、地域で防ぐ!伏見AFレジストリを介した心房細動の医療連携	阿部充
リアルワールドのクロストーク 札幌 2015.05.19	CHADS2スコアを疑え!〜伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
西濃抗血栓療法カンファレンス2015 大垣市 (岐阜県) 2015.05.21	伏見AFレジストリの最新知見〜超ハイリスク患者の抗凝固をどうするか	赤尾 昌治
臨床高血圧フォーラム 福岡 2015.05.23	心房細動治療におけるβ遮断薬の役割〜伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
第四回 禁煙治療研究会 京都 2015.05.24 他3件	外国人から見たわが国の受動喫煙状況 東京オリンピック・パラリンピック成功に向けて	尾崎裕香、高橋裕子、小見山麻紀、飯田 真美、大和 浩、藤原久義、長谷川浩二

千葉県イグザレイト錠発売3周年記念講演会 幕張 2015.05.28	伏見AFレジストリの最新知見～超ハイリスク患者の抗凝固をどうするか	赤尾 昌治
第15回日本抗加齢医学会総会 福岡 2015.05.29 他5件	慢性閉塞性肺疾患、心血管炎症と高吸収クルクミン	長谷川 浩二
Tokyo Heart & Brain Joint Forum 東京 2015.06.01	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
第177回YOKOHAMA CARDIAC SEMINAR 横浜 2015.6.3	造影剤腎症 恐るるに足らず	阿部 充
心房細動治療戦略研究会 岡崎市(愛知県) 2015.06.04	脳梗塞、地域で防げ!～伏見AFレジストリを介した心房細動の医療連携	赤尾 昌治
J-SCP学術集会ラウンドテーブルディスカッション 京都 2015.06.20	疫学調査から抗凝固療法の実態を学ぶ	赤尾 昌治
第1回J-SCP学術集会 京都 2015.06.20 他23件	体細胞からIPS細胞への初期化の分子機構の解明	川村 晃久
第2回K-PCIカンファレンス 大阪 2015.6.26	胸部動脈瘤術前に冠動脈造影を施行し興味深い所見が得られた一例	阿部 充
日本循環器学会九州地方会ランチョンセミナー 福岡 2015.06.27	超ハイリスクAF患者の抗凝固、どうしますか?～伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
エリキュース発売2周年記念講演会@静岡 静岡市 2015.06.30	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
Meet The Specialist 京都 2015.7.3	伏見AFレジストリから見えてくる、抗血栓療法の現状と問題点	阿部 充
Catheter Intervention Summer Seminar 2015 京都 2015.7.4	高度石灰化のためPCIに難渋したCABG後のCTO症例	阿部 充
第61回 日本薬学会東海支部大会 愛知 2015.7.4 他4件	PRMT5/MEP50メチル化複合体による心筋細胞肥大制御機構の解析	刀坂泰史、中田淳也、宮崎雄輔、砂川陽一、鈴木秀敏、和田啓道、長谷川浩二、森本達也
クレアチニンクリアランスからNOAC適正使用を考える 姫路市 2015.07.11	クレアチニンクリアランスからNOAC適正使用を考える	赤尾 昌治
沖縄中部地区Network Meeting 宜野湾市 2015.07.16	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
第63回東海血栓症研究会 名古屋市 2015.07.17	伏見AFレジストリの最新知見～超ハイリスク患者の抗凝固をどうするか	赤尾 昌治
SAKAI抗凝固講演会2015 大阪 2015.07.18	脳梗塞、地域で防げ!～伏見AFレジストリを介した心房細動の医療連携	赤尾 昌治
Meet the Expert in Thrombosis 2015 埼玉 2015.07.21	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
久留米内科医学会学術講演会 久留米 2015.7.21	脳梗塞、地域で防ぐ!伏見AFレジストリを介した心房細動の医療連携	阿部 充
ラジオNIKKEI心臓財団心疾患セミナー 大阪 2015.07.25	実地医家からみた心房細動治療	赤尾 昌治
日本不整脈学会・日本心電学会合同学術集会、京都 2015.07.28	Digitalis is Not Associated with an Increased Risk of Mortality in Japanese Patients with Atrial Fibrillation: From The Fushimi AF Registry.	Hisashi Ogawa, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第24回日本心血管 インターベンション治療学会学術集会 福岡 2015.07.30	Antithrombotic therapy in atrial fibrillation patients with percutaneous coronary intervention: The Fushimi AF registry.	Nobutoyo Masunaga, Hisashi Ogawa, Moritake Iguchi, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji, Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
CVIT 福岡 2015.7.31	「AF合併PCI患者の抗血栓療法」PCI歴を有するAF患者の抗血栓療法と予後:伏見AFレジストリより	阿部 充
京都府医師会学術講演会 京都 2015.08.08	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
心房細動フォーラム in 仙台 仙台 2015.08.20	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
甲府地区Network Meeting 甲府市 2015.08.21	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
第5回阪神不整脈の会 伊丹市 2015.08.22	脳梗塞、地域で防げ!～伏見AFレジストリを介した心房細動の医療連携	赤尾 昌治
心房細動のTotal Management 大阪 2015.09.05	発作性と慢性心房細動、塞栓症リスクは同等か～伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
奈良AF病診合同カンファレンス 奈良 2015.09.12	伏見AFレジストリの最新知見～超ハイリスクAF患者の抗凝固をどうするか	赤尾 昌治
三重中央地区Network Meeting 津市 2015.09.18	発作性と慢性心房細動、塞栓症リスクは同等か～伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
日本心臓病学会学術集会 実地医家セッション シンポジウムI 横浜 2015.09.20	実地医家が参加するレジストリから診療の実態を学ぶ	赤尾 昌治
射水市医師会学術講演会 富山 2015.09.24	伏見AFレジストリの最新知見～超ハイリスクAF患者の抗凝固をどうするか	赤尾 昌治
Meet the Expert in Osaka 大阪 2015.09.26	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
第109回春日部循環器懇話会 埼玉 2015.10.02	超ハイリスクAF患者の抗凝固、どうしますか?～伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
第227回彦根循環器談話会 滋賀 2015.10.03	超ハイリスクAF患者の抗凝固、どうしますか?～伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
山口市Network Meeting 山口 2015.10.6	脳梗塞、地域で防ぐ!伏見AFレジストリを介した心房細動の医療連携	阿部 充
第166回浜松循環器研究会 浜松市 2015.10.08	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治

山科Network Meeting 京都 2015.10.10	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
北海道PCIカンファレンス 札幌 2015.10.10	造影剤腎症 恐るるに足らず	阿部 充
第52回京滋奈良Interventional Cardiology研究会 京都 2015.10.17	大動脈解離を疑い治療方針に苦慮したSTEMIの2例	阿部 充
第64回日本農村医学会学術総会ランチョンセミナー 秋田 2015.10.22	脳梗塞、地域で防ぐ!～伏見AFレジストリから見た抗凝固療法の現状と病診連携～	阿部 充
第19回日本心不全学会学術集会 大阪 2015.10.22 他2件	A Natural Polymethoxy Flavonoid, Nobiletin, Prevents Pressure-overload Induced Cardiac Hypertrophy in Mice	Yoichi Sunagawa, Kehima Hieda, Ryoga Sakurai, Shintaro Ogawahara, Masafumi Funamoto, Yasufumi Katanasaka, Tomohiro Asakawa, Toshiyuki Kan, Akira Murakami, Hiromichi Wada, Tadashi Hashimoto, Koji Hasegawa, Tatsuya Morimoto
第19回日本心不全学会学術集会 ランチョンセミナー14 大阪 2015.10.22	心房細動患者において、心不全は脳卒中リスクか?～伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
第19回日本心不全学会学術集会 大阪 2015.10.22 他1件	The impact of systolic heart failure on the incidence of stroke in AF patients: The Fushimi AF registry.	Moritake Iguchi, Hisashi Ogawa, Nobutoyo Masunaga, Mitsuru Ishii, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
呉抗血栓療法学術講演会 2015.10.23	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
Meet the Expert 東京 2015.10.24	発作性と慢性心房細動、塞栓症リスクは同等か～伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
第20回静岡健康・長寿学術フォーラムボスターセッション 静岡 2015.10.30 他7件	Highly Absorptive Curcumin Reduces Serum Levels of Atherosclerotic LDL in Mild COPD Subjects	Masafumi Funamoto, Shimizu Kana, Yoichi Sunagawa, Yasufumi Katanasaka, Yusuke Miyazaki, Atsushi Imaizumi, Hajime Yamakage, Noriko Satoh-Asahara, Akira Shimatsu, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Tatsuya Morimoto
β遮断薬の真のパラダイムシフト@高崎群馬 2015.10.30	心房細動治療におけるβ遮断薬の役割～伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
名古屋市南西地区Network Meeting 名古屋 2015.10.31	伏見AFレジストリの最新知見～超ハイリスク患者の抗凝固をどうするか	赤尾 昌治
中丹地区Network Meeting 福知山市 2015.11.05	伏見AFレジストリの最新知見～超ハイリスク患者の抗凝固をどうするか	赤尾 昌治
第10回日本禁煙科学会学術総会 横浜 2015.11.07 他10件	禁煙治療におけるコツと留意点:うつ状態評価と肥満・糖尿病	長谷川 浩二
日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部 合同学術大会2015 愛知 2015.11.11 他17件	柑橘類果皮成分Nobiletinの慢性心不全モデルでの検討および標的因子の同定	穉田 蛭火舞, 砂川 陽一, 櫻井 涼賀, 小川 原慎太郎, 鈴木 杏奈, 刀坂 泰史, 和田 啓道, 村上 明, 橋本 正, 島津 章, 長谷川 浩二, 森本 達也
京都府Care AF 講演会 京都 2015.11.14	日常診療における抗凝固療法の現状と課題: 伏見AFレジストリから見えてきたこと	阿部 充
平成27年度一般財団法人糧食研究会一般公募研究成果発表会 東京 2015.11.16	柑橘類果皮成分の心不全治療に関する研究	森本 達也
VI-Today 京都 2015.11.16	カテーテルインターベンション近未来 ESC,TCT2015からの洞察	阿部 充
NOAC meeting in 志太橋原 静岡 2015.11.19	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
第3回 Tango Cardiology Communication Forum 京都府宮津 2015.11.20	伏見AFレジストリから見えてくる、AF患者のPCI後の抗血栓療法	阿部 充
大阪CRCVカンファレンス 大阪 2015.11.26	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
第120回日本循環器学会近畿地方会 大阪 2015.11.28	喫煙の心疾患バイオマーカーに与える影響	長谷川 浩二
心房細動のトータルマネジメントの提案 岡山 2015.12.01	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
大津・湖西・甲賀Network Meeting 大津 2015.12.03	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
第32回 ISHR日本部会総会 兵庫 2015.12.10	MEP50 inhibites p300/GATA4-induced hypertrophic gene transcription by recruiting PRMT5 to p300	Yusuke Tsutsui, Yusuke Miyazaki, Yasufumi Katanasaka, Ryoga Sakurai, Yoichi Sunagawa, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Tatsuya Morimoto
第32回 ISHR日本部会総会 兵庫 2015.12.10	PRMT5 accelerates cardiac hypertrophy and the deterioration of left ventricular systolic function with aging	Hiroki Wakabayashi, Ryoga Sakurai, Yasufumi Katanasaka, Yusuke Miyazaki, Yoichi Sunagawa, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Tatsuya Morimoto
PAC15 東京 2015.12.12	大動脈解離の除外が必要な、ショックを呈したSTEMIの一症例	阿部 充
心房細動治療の最前線 米子 2015.12.15	CHADS2スコアを疑え!～伏見AFレジストリから見た日本人の脳卒中リスク因子	赤尾 昌治
伏見医師会ランチョンセミナー 京都 2016.1.15	日頃の悩み、抗血小板薬と抗凝固薬の使い分けと休薬時の対応について	阿部 充
抗血栓療法を考える会 つくば市 2016.01.22	NOAC全盛時代到来!フルファリンはなくてもいいの?	赤尾 昌治
小松地区Stroke Prevention Conference 小松 2016.2.5	脳梗塞、地域で防ぐ!伏見AFレジストリを介した心房細動の医療連携	阿部 充
第11回日本PCIフェローコース 横浜 2016.2.6	冠動脈疾患と腎障害(循環器内科医から)～腎機能障害は心臓カテーテル検査の妨げか?～	阿部 充
循環器・消化器ジョイントフォーラム 京都 2016.2.18	当院における周術期の抗血栓薬休薬時の対応について	阿部 充
豊能地区 Core Member Meeting 豊中市 2016.03.02	超高齢化社会の抗凝固療法はどうあるべきか～伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
K-PCIカンファレンス 大阪 2016.3.4	奥深い臨床研究～J-CTOスコアから伏見AFレジストリまで～	阿部 充

第89回日本薬理学会年会 神奈川 2016.3.9	高吸収性クルクミン製剤を用いた心不全治療への展開医療研究	砂川陽一
Minato Anticoagulation Network 東京 2016.03.11	NOAC時代の心房細動診療における医療連携の意義を考える	赤尾 昌治
超高齢社会における循環器疾患・糖尿病診療を考える 京都 2016.03.12	心房細動レートコントロールにおけるβ遮断薬の位置付け～伏見AFレジストリからの考察	赤尾 昌治
栗駒・一泊循環器セミナー 宮城 2016.03.17	NOACで心房細動の抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリから	赤尾 昌治
第80回日本循環器病学会 学術集会総会 仙台 2016.03.18 他35件	Initiation of Oral Anticoagulants in Patients with Atrial Fibrillation in the Real-World: The Fushimi AF Registry.	Yugo Yamashita, Masahiro Esato, Yeong-Hwa Chun, Hikari Tsuji, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Hisashi Ogawa, Mitsuru Abe, Masaharu Akao.
第80回日本循環器学会学術集会ランチョンセミナー 仙台市 2016.03.18	NOACで心房細動の抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリから	赤尾 昌治
日本薬学会第136回 神奈川 2016.3.26 他8件	新規NObletin標的因子過剰発現マウスは圧負荷で誘導される心不全の進行を抑制した	鈴木杏奈、砂川陽一、櫻井涼賀、稗田螢火舞、小川原慎太郎、刀坂泰史、和田啓道、稲垣暢也、村上明、今泉厚、島津章、長谷川浩二、森本達也
心房性脳塞栓症を予防するプロジェクト 在 奈良 奈良 2016.03.26	NOACで心房細動の抗凝固療法はどう変わったか～伏見AFレジストリから	赤尾 昌治

## □ 投稿論文など

タイトル・著書・雑誌名	著者
禁煙治療中の体重増加に関連する因子についての検討 禁煙科学会 2015;9(1):1	小見山麻紀、和田弘道、浦 修一、山陰 一、浅原哲子、小山 弘、河野公一、高橋裕子、長谷川浩二
禁煙支援の実態とコツ 日本循環器学会専門誌「循環器専門医」 2016;24(1)	小見山麻紀、高橋裕子、長谷川浩二
循環器—腹部大動脈瘤、動脈硬化、高血圧、その他 喫煙と健康—喫煙と健康問題に関する検討会報告書(第四版) 2016;2章第4節	小見山麻紀、長谷川浩二
受動喫煙の健康被害と全面禁煙に関する日米アンケート比較調査 日本禁煙科学会学術誌 2016;10(1):1-9	尾崎裕香、高橋裕子、小見山麻紀、和田啓道、浅原哲子、山陰 一、船本雅文、砂川陽一、森本達也、飯田真美、大和 浩、藤原久義、長谷川浩二
受動喫煙の健康被害と全面禁煙に関する日米アンケート比較調査—禁煙状況別解析— 日本禁煙科学会学術誌 2016;10(2):13-27	尾崎裕香、高橋裕子、小見山麻紀、和田啓道、浅原哲子、山陰 一、船本雅文、砂川陽一、森本達也、飯田真美、大和 浩、藤原久義、長谷川浩二
わが国の現状と課題の抽出・課題解決の方策の検討 第14条 禁煙治療 厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 たばこ規制枠組み条約を踏まえたたばこ対策に係る総合研究 平成26年度 総括・分担研究報告書 2015.3;27-37	長谷川浩二、小見山麻紀、尾崎裕香
Effects of Statins on Left Ventricular Iastolic Function in Patients with yslipidemia and Diastolic Dysfunction(Stat-LVDF Study) The Pharmaceutical Society of Japan Btol.Pharm.Bull. 2015;38(9):1404-1409	Tatsuya Morimoto,Yasufumi Ktanasaka, Yoichi sunagawa, Sae Hirano, Yusuke Miyazaki, Masafumi Funamoto, Yuya Hojo, Hidetoshi Suzuki, Eriko Morimoto,Morio Ueno, Akira Shimatsu,Noriko Satoh-Asahara,Hajime Yamakage,Hiromichi Wada,Koji Hasegawa.
Colloidal Submicron-Particle Curcumin Exhibits High Absorption Efficiency-A Double-Blind, 3-Way Crossover Study Journal of Nutritional Science and Vitaminology 2015;61(1):37-44	Yoichi Sunagawa, Sae Hirano, Yasufumi Katanasaka, Yusuke Miyazaki, Masafumi Funamoto, Nobuko Okamura, Yuya Hojo, Hidetoshi Suzuki, Osamu Doi, Tsunehiro Yokoji T, Eriko Morimoto, Tsukasa Takahashi, Histomi Ozawa, Atsushi Imaizumi, Morio Ueno, Hideaki Kakeya, Akira Shimatsu, Hiromichi Wada, Koji Hasegawa, Tatsuya Morimoto.
Antihypertensive effects of foods World Journal of Hypertension 2015;5(2):53-62	Kehima Hieda,Yoichi Sunagawa,Yasufumi Katanasaka,Koji Hasegawa,Tatsuya Morimoto
Clinical applications of curcumin PharmaNutrition 2015;3(4):131-135	Yoichi Sunagawa, Yasufumi Katanasaka, Koji Hasegawa, Tatsuya Morimoto
クルクミンの臨床応用の可能性 Functional Food 2015.6;9(1):23-29	砂川陽一、刀坂泰史、長谷川浩二、森本達也
緑茶とアンチエイジング アンチエイジング医学の基礎と臨床 2015.9;第3版:316-317	刀坂泰史、森本達也
医師が知っておきたいサプリメント～循環器領域～ 機能性表示食品DATA BOOK 2015.11;132-135	稗田螢火舞、砂川陽一、刀坂泰史、長谷川浩二、森本達也
降圧効果を持つ機能性食品の薬理作用～血圧コントロールが期待される食品～ 日本薬理学雑誌 2015.7;146(1):33-39	稗田螢火舞、砂川陽一、刀坂泰史、長谷川浩二、森本達也
機能性食素材による心臓のアンチエイジングの可能性 日本抗加齢医学会雑誌 2015.8;11(4):60-64	砂川陽一、刀坂泰史、長谷川浩二、森本達也
肺の硬化を抑制するセラクルクミン心臓拡張機能も有意に改善 健康ジャーナル 2015.5;5月19日号:7	森本達也
Clinical characteristics and outcomes of dialysis patients with atrial fibrillation: the Fushimi AF Registry. Heart Vessels. 2016 Mar 14; Epub ahead of print	Yamashita Y, Takagi D, Hamatani Y, Iguchi M, Masunaga N, Esato M, Chun YH, Itoh H, Nishimura M, Wada H, Hasegawa K, Ogawa H, Abe M, Akao M.
Impact of J-CTO score on procedural outcome and target lesion revascularisation after percutaneous coronary intervention for chronic total occlusion: a substudy of the J-CTO Registry (Multicentre CTO Registry in Japan). EuroIntervention. 2016 Jan 22;11(9):981-8	Tanaka H, Morino Y, Abe M, Kimura T, Hayashi Y, Muramatsu T, Ochiai M, Noguchi Y, Kato K, Shibata Y, Hiasa Y, Doi O, Yamashita T, Morimoto T, Hinohara T, Fujii T, Mitsudo K.
Incidence of Stroke or Systemic Embolism in Paroxysmal Versus Sustained Atrial Fibrillation: The Fushimi Atrial Fibrillation Registry. Stroke. 2015 Dec;46(12):3354-61	Takabayashi K, Hamatani Y, Yamashita Y, Takagi D, Unoki T, Ishii M, Iguchi M, Masunaga N, Ogawa H, Esato M, Chun YH, Tsuji H, Wada H, Hasegawa K, Abe M, Lip GY, Akao M.
Predictors for Stroke and Death in Non-Anticoagulated Asian Patients with Atrial Fibrillation: The Fushimi AF Registry. PLoS One. 2015 Nov 5;10(11):e0142394	Hamatani Y, Yamashita Y, Esato M, Chun YH, Tsuji H, Wada H, Hasegawa K, Abe M, Lip GY, Akao M.
J-POP Registry Investigators. Regional cerebral oxygen saturation monitoring for predicting interventional outcomes in patients following out-of-hospital cardiac arrest of presumed cardiac cause: A prospective, observational, multicentre study. Resuscitation 2015 Nov;(96):135-41	Nishiyama K, Ito N, Orita T, Hayashida K, Arimoto H, Beppu S, Abe M, Unoki T, Endo T, Murai A, Hatada T, Yamada N, Mizobuchi M, Himeno H, Okuchi K, Yasuda H, Mochizuki T, Shiga K, Kikuchi M, Tsujimura Y, Hatanaka T, Nagao K
Characteristics of regional cerebral oxygen saturation levels in patients with out-of-hospital cardiac arrest with or without return of spontaneous circulation: A prospective observational multicentre study. Resuscitation. 2015 Nov;(96):16-22	Nishiyama K, Ito N, Orita T, Hayashida K, Arimoto H, Abe M, Unoki T, Endo T, Murai A, Ishikura K, Yamada N, Mizobuchi M, Anan H, Watanabe T, Yasuda H, Homma Y, Shiga K, Tokura M, Tsujimura Y, Hatanaka T, Nagao K.

One-year outcome of a prospective trial stopping dual antiplatelet therapy at 3 months after everolimus-eluting cobalt-chromium stent implantation: ShortT and OPTimal duration of Dual AntiPlatelet Therapy after everolimus-eluting cobalt-chromium stent (STOPDAPT) trial. <i>Cardiovasc Interv Ther.</i> 2015 Oct 30 [Epub ahead of print]	Natsuaki M, Morimoto T, Yamamoto E, Shiomi H, Furukawa Y, Abe M, Nakao K, Ishikawa T, Kawai K, Yunoki K, Shimizu S, Akao M, Miki S, Yamamoto M, Okada H, Hoshino K, Kadota K, Morino Y, Igarashi K, Tanabe K, Kozuma K, Kimura T.
Final 3-Year Outcome of a Randomized Trial Comparing Second-Generation Drug-Eluting Stents Using Either Biodegradable Polymer or Durable Polymer: NOBORI Biolimus-Eluting Versus XIENCE/PROMUS Everolimus-Eluting Stent Trial. <i>Circ Cardiovasc Interv.</i> 2015 Oct 8;(10) pii: e002817	Natsuaki M, Kozuma K, Morimoto T, Kadota K, Muramatsu T, Nakagawa Y, Akasaka T, Igarashi K, Tanabe K, Morino Y, Ishikawa T, Nishikawa H, Awata M, Abe M, Okada H, Takatsu Y, Ogata N, Kimura K, Urasawa K, Tarutani Y, Shiode N, Kimura T.
Incidence and predictors of ischemic stroke during hospitalization for congestive heart failure. <i>Heart Vessels.</i> 2015 Jul 29 [Epub ahead of print]	Hamatani Y, Iguchi M, Nakamura M, Ohtani R, Yamashita Y, Takagi D, Unoki T, Ishii M, Masunaga N, Ogawa H, Hamatani M, Abe M, Akao M.
Clinical characteristics and outcomes in extreme elderly (age $\geq$ 85) Japanese patients with atrial fibrillation: The Fushimi AF Registry. <i>Chest.</i> 2015 Jul 16 [Epub ahead of print]	Yamashita Y, Hamatani Y, Esato M, Chun YH, Tsuji H, Wada H, Hasegawa K, Abe M, Lip Gy, Akao M.
Indications, applications, and outcomes of inferior vena cava filters for venousthromboembolism in Japanese patients. <i>Heart Vessels.</i> 2015 Jul 2. [Epub ahead of print]	Yamashita Y, Unoki T, Takagi D, Hamatani Y, Ishii M, Iguchi M, Ogawa H, Masunaga N, Wada H, Hasegawa K, Abe M, Akao M.
Clinical efficacy of thrombus aspiration on 5-year clinical outcomes in patients with ST-segment elevation acute myocardial infarction undergoing percutaneous coronary intervention. <i>J Am Heart Assoc.</i> 2015 Jun 15;4(6):e001962.	Watanabe H, Shiomi H, Nakatsuma K, Morimoto T, Taniguchi T, Furukawa Y, Nakagawa Y, Horie M, Kimura T; CREDO - Kyoto AMI investigators, Kimura T, Sakata R, Marui A, Matsuda M, Mitsuoka H, Onoe M, Nakagawa Y, Yamanaka K, Fujiwara H, Takatsu Y, Ohno N, Nohara R, Murakami T, Takeda T, Nobuyoshi M, Iwabuchi M, Hanyu M, Tatami R, Matsushita T, Shirokuni M, Nishiwaki N, Kita T, Furukawa Y, Okada Y, Kato H, Eizawa H, Is K, Tanaka M, Nakayama S, Lee JD, Nakano A, Koshiji T, Morioka K, Takizawa A, Shimamoto M, Yamazaki F, Takahashi M, Nishizawa J, Horie M, Takashima H, Tamura T, Aota M, Takahashi M, Tabata T, Tei C, Hamasaki S, Imoto Y, Yamamoto H, Kambara H, Doi O, Matsuda K, Nara M, Mitsudo K, Kadota K, Komiya T, Miki S, Mizoguchi T, Nakajima H, Ogawa H, Sugiyama S, Kawasumi M, Moriyama S, Hattori R, Aoyama T, Araki M, Suwa S, Tanbara K, Kitagawa K, Yamauchi M, Okamoto N, Fujino Y, Tezuka S, Saeki A, Hanazawa M, Sato Y, Hibi C, Sasae H, Takinami E, Uchida Y, Yamamoto Y, Nishida S, Yoshimoto M, Maeda S, Miki I, Minematsu S, Abe M, Shiomi H, Tada T, Tazaki J, Kato Y, Hayano M, Tokushige A, Natsuaki M, Nakajima T.
Thyroid Storm with Heart Failure Treated with a Short-acting Beta-adrenoreceptor Blocker, Landoilol Hydrochloride. <i>Intern Med.</i> 2015;54(13):1633-7	Yamashita Y, Iguchi M, Nakatani R, Usui T, Takagi D, Hamatani Y, Unoki T, Ishii M, Ogawa H, Masunaga N, Abe M, Akao M.
CREDO-Kyoto PCI/CABG registry cohort-2 investigators. Antiplatelet therapy discontinuation and the risk of serious cardiovascular events after coronary stenting: observations from the CREDO-Kyoto Registry Cohort-2. <i>PLoS One.</i> 2015 Apr 8;10(4):e0124314.	Watanabe H, Morimoto T, Natsuaki M, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota K, Yamaji K, Ando K, Shizuta S, Shiomi H, Tada T, Tazaki J, Kato Y, Hayano M, Abe M, Tamura T, Shirokuni M, Miki S, Matsuda M, Takahashi M, Ishii K, Tanaka M, Aoyama T, Doi O, Hattori R, Kato M, Suwa S, Takizawa A, Takatsu Y, Shinoda E, Eizawa H, Takeda T, Lee JD, Inoko M, Ogawa H, Hamasaki S, Horie M, Nohara R, Kambara H, Fujiwara H, Mitsudo K, Nobuyoshi M, Kita T, Kastrati A, Kimura T
Low Body Weight Is Associated With the Incidence of Stroke in Atrial Fibrillation Patients. <i>Circ J.</i> 2015;79(5):1009-17	Hamatani Y, Ogawa H, Uozumi R, Iguchi M, Yamashita Y, Esato M, Chun YH, Tsuji H, Wada H, Hasegawa K, Abe M, Morita S, Akao M.
Stroke prevention in atrial fibrillation: Evidence from real-world studies. <i>Eur Heart J</i> 2015;17(SupplD):D42-52	Masaharu Akao, Jan Beyer-Westendorf, Shinya Goto, Eric Peterson
Antiplatelet therapy in Japanese patients with atrial fibrillation without oral anticoagulants: Pooled analysis of Shinken Database, J-RHYTHM Registry and Fushimi AF Registry. <i>Int J Cardiol.</i> 2015; 190:344-346	Hisashi Ogawa, Masaharu Akao, Shinya Suzuki, Takeshi Yamashita, Ken Okumura, Hirotsugu Atarashi, Hiroshi Inoue
伏見心房細動患者登録研究 (Fushimi AF Registry) におけるクレアチンクリアランス分布に関する検討. <i>Pharma Medica</i> 2015; 33(33):137-146	赤尾 昌治
日本のプライマリ・ケアにおける高齢者の心房細動診療の現状と課題. <i>治療.</i> 2015; 97(4):463-468	赤尾 昌治
心房細動罹患人口とその合併疾患—世界と日本—. <i>カレントセラピー</i> 2015; 33(3):226-231	赤尾 昌治
心房細動診療のリアル・ワールド 伏見AFレジストリーの最新知見から. <i>週刊医学界新聞</i> 2015.7	小川尚、赤尾昌治
心房細動の疫学と心房細動診療のリアルワールド—伏見AFレジストリから. <i>循環器内科</i> 2015;78(5):18-24	赤尾 昌治
日本人における心原性脳塞栓症リスク—欧米人との相違 診断と治療. 2015	赤尾 昌治
心房細動合併心不全に対する抗凝固療法 単行本「—エキスパートが明かす—心不全診療の極意」2015	井口守丈、赤尾昌治
microRNAs and Cardiovascular Remodeling. <i>Adv Exp Med Biol.</i> 2015;888:197-213	Ono K.
Functions of microRNA-33a/b and microRNA therapeutics. <i>J Cardiol.</i> 2015.11 Epub ahead of print	Ono K.
Emerging Novel Biomarkers for Arteriosclerosis Obliterans. <i>J Atheroscler Thromb.</i> 2015 Epub ahead of print	Horie T, Kimura T, Ono K.
Expression Patterns of miRNA-423-5p in the Serum and Pericardial Fluid in Patients Undergoing Cardiac Surgery. <i>PLoS One.</i> 2015;10(11):e0142904	Miyamoto S, Usami S, Kuwabara Y, Horie T, Baba O, Hakuno D, Nakashima Y, Nishiga M, Izuhara M, Nakao T, Nishino T, Ide Y, Nakazeki F, Wang J, Ueyama K, Kimura T, Ono K.
microRNA-33 Regulates ApoE Lipidation and Amyloid- $\beta$ Metabolism in the Brain. <i>J Neurosci.</i> 2015;35(44):14717-26	Kim J, Yoon HS, Horie T, Burchett JM, Restivo JL, Rotllan N, Ramirez CM, Verghese PB, Ihara M, Hoe HS, Esau C, Fernández-Hernando C, Holtzman DM, Cirrito JR, Ono K, Kim J.
Influence of Sex on Long-Term Outcomes After Implantation of Bare-Metal Stent: A Multicenter Report From the Coronary Revascularization Demonstrating Outcome Study-Kyoto (CREDO-Kyoto) Registry Cohort-1. <i>Circulation.</i> 2015;132(24):2323-33	Yamaji K, Shiomi H, Morimoto T, Toyota T, Ono K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota K, Ando K, Shirai S, Kato M, Takatsu Y, Doi O, Kambara H, Suwa S, Onodera T, Watanabe H, Natsuaki M, Kimura T.
MicroRNAs and High-Density Lipoprotein Cholesterol Metabolism. <i>Int Heart J</i> 2015;56(4):365-71	Ono K, Horie T, Nishino T, Baba O, Kuwabara Y, Kimura T.
Long-Term Outcomes After Coronary Stent Implantation in Patients Presenting With Versus Without Acute Myocardial Infarction (an Observation from Coronary Revascularization Demonstrating Outcome Study-Kyoto Registry Cohort-2). <i>Am J Cardiol.</i> 2015.7;116(1):15-23	Yamaji K, Natsuaki M, Morimoto T, Ono K, Furukawa Y, Nakagawa Y, Kadota K, Ando K, Shirai S, Watanabe H, Shiomi H, Kimura T.
MicroRNA-133a in the Development of Arteriosclerosis Obliterans. <i>J Atheroscler Thromb.</i> 2015;22(4):342-3	Ono K



CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-2 Investigators. High-density lipoprotein cholesterol levels and cardiovascular outcomes in Japanese patients after percutaneous coronary intervention: A report from the CREDO-Kyoto registry cohort-2. <i>Atherosclerosis</i> . 2015.05;242(2):632-8	Izuhara M, Ono K, Shiomi H, Morimoto T, Furukawa Y, Nakagawa Y, Shizuta S, Tada T, Tazaki J, Horie T, Kuwabara Y, Baba O, Nishino T, Kita T, Kimura T
MicroRNA-33a/b in Lipid Metabolism-novel "thrifty" models. <i>Circ J</i> 2015;79(2):278-84	Ono K, Horie T, Nishino T, Baba O, Kuwabara Y, Yokode M, Kita T, Kimura T.
Clinical Impact of Left Ventricular Outflow Tract Obstruction in Takotsubo Cardiomyopathy. <i>Circ J</i> 2015;79:839-46	Kawaji T, Shiomi H, Morimoto T, Tazaki J, Imai M, Saito N, Makiyama T, Shizuta S, Ono K, Kimura T.
Non-Invasive Detection of Functional Myocardial Ischemia: Multifunction cardiogram Evaluation in Diagnosis of Functional Coronary Ischemia Study (MED-FIT). <i>Annals of Noninvasive Electrocardiology</i> 2015	Kawaji T, Shiomi H, Morimoto T, Nishikawa R, Yano M, Higami H, Tazaki J, Imai M, Saito N, Makiyama T, Shizuta S, Ono K, Kimura T
MicroRNA-451 Exacerbates Lipotoxicity in Cardiomyocytes and High-Fat Diet-Induced Cardiac Hypertrophy in Mice through Suppression of the LKB1/AMPK Pathway. <i>Circ Res</i> 2015;116(2):279-88	Kuwabara Y, Horie T, Baba O, Watanabe S, Nishiga M, Usami S, Izuhara M, Nakao T, Nishino T, Otsu K, Kita T, Kimura T, Ono K
miRNAと循環器疾患 循環器内科 2015.4;77(4)	尾野 亘
マイクロRNA制御による心不全治療 循環器内科 2015	尾野 亘
マイクロRNAと転写因子相互作用による脂質代謝制御 生化学会雑誌 2015	尾野 亘
心血管疾患の新規治療標的としてのmiR-33a/b 循環器専門医 2015	尾野 亘
マイクロRNAと動脈硬化症 臨床化学 2015	尾野 亘
microRNA Medical Evidence 2015	Koh Ono, Gaetano Santulli (Eds)
生活習慣病とmiRNA 実験医学 ノンコーディングRNAテキストブック 2015;122-125	尾野 亘